

情報マルチメディア科(2年課程) シラバス一覧 R5(2023)年度

1-2 情報マルチメディア科(1年次)

年次	専門 一般 教科 区分	工業専門課程		情報マルチメディア科			実務経験者 による授業	
		科目番号	授業科目	必修 の別	時間数	時限数		
					(単位時間)	(コマ数)		
一 年 次	専	IT-社-01	ITの職業と情報倫理	必修	30時間	15時限		
		IT-共-07	IT戦略とマネジメント		30時間	15時限		
		IT-共-01	ハードウェア		30時間	15時限		
		IT-共-02	システムとソフトウェア		30時間	15時限		
		IT-共-05	ネットワークとセキュリティ		30時間	15時限	○	
		IT-共-03	データとアルゴリズム		30時間	15時限		
		IT-共-04	アルゴリズム		60時間	30時限	○	
		IT-共-06	システム開発と情報戦略		30時間	15時限	○	
		共通-104	ビジネスソフト活用1		30時間	15時限		
		IT-社-02	ヒューマンスキル		30時間	15時限		
	門	SYS-共-02	JAVA	選択 1	120時間	60時限	○	
		SYS-ネ-02	ネットワーク応用1		30時間	15時限		
		SYS-開-03	SQL基礎		30時間	15時限		
		SYS-ネ-01	SEA/J基礎		60時間	30時限		
		SYS-開-01	HTMLとCSS		30時間	15時限		
		共通-106-1	特別講座I		480時間	240時限		
		GAME-101	C言語		選択 2	90時間	45時限	
		CRE-共-03	デザイン実践			60時間	30時限	○
		CRE-ゲ-01	ゲームプランニング			30時間	15時限	○
		GAME-102	マルチメディア技術(ペーシック)			60時間	30時限	
GAMA-103	ゲーム企画演習	30時間	15時限					
CRE-共-02	デザイン理論	30時間	15時限					
CRE-ゲ-05	キャラクター描画	30時間	15時限					
共通-106-2	特別講座I	420時間	210時限					
一般	共通-105	就職指導	必修	60時間	30時限			
計				1140時間	570時限			
1年次年間授業日数				195日				

情報マルチメディア科（2年次）

年次	専門 一般 教科 区分	工業専門課程		情報マルチメディア科			実務経験者 による授業
		科目番号	授 業 科 目	必修	時間数	時限数	
				の別	(単位時間)	(コマ数)	
二 年 次	専 門	共通-201	セキュリティ応用	必 修	30時間	15時限	○
		共通-202	ヒューマンインタフェース論		30時間	15時限	○
		共通-203	卒業研究		240時間	120時限	
		シス-201	J A V A 2	選 択 1	30時間	15時限	○
		シス-202	オブジェクト指向プログラミング		60時間	30時限	
		シス-203	L i n u x		30時間	15時限	
		シス-204	オラクルSQL		90時間	45時限	
		シス-205	A I の活用と開発手法		30時間	15時限	○
		シス-206	W e bアプリケーション構築		90時間	45時限	
	シス-207	S Q L 実習	90時間		45時限		
	シス-208	テクニカルライティング	30時間		15時限		
	シス-209	特別講座Ⅱ	270時間		135時限		
	門	MM-201	マルチメディア技術(エキスパート)	選 択 2	90時間	45時限	
		MM-202	モデリング基礎		60時間	30時限	
		MM-203	アニメーション技法		60時間	30時限	○
		MM-204	ゲームプログラミングⅠ		60時間	45時限	
		MM-205	ゲームプログラミングⅡ		90時間	45時限	
		MM-206	ゲームプランニング応用		30時間	15時限	
		MM-207	マルチメディア総合演習Ⅰ		60時間	45時限	
		MM-210	S E A / J 基礎		60時間	30時限	
		MM-211	特別講座Ⅱ		210時間	105時限	
一般		共通-204	就職対策		必 修	60時間	30時限
計				1080時間	540時限		
2年次年間授業日数				184日			
2年間総授業時間数 2220時間				2年間総授業日数 379日			

科目番号：IT-社-01

科目名		時間数(90分)				
ITの職業と情報倫理		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	専門学校入学直後の導入科目として、これからの学習への動機付けと情報リテラシー教育を行う。					
学習到達目標	IT技術のトレンドと業界動向を把握し、目指す職業と有効な資格を具体化できるようになる。また、IT(特にインターネット)を活用したコミュニケーションの種類や特性、情報セキュリティを理解し、ITを効果的かつ安全に活用するための基本的なスキルを身につける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	ITの発展と社会				
	2	インターネットの基礎知識				
	3	IoTとAI				
	4	ITの職業と資格				
	5	IT社会のトラブル				
	6	情報セキュリティ				
	7	コンピュータウイルス				
	8	情報のとらえ方				
	9	情報発信のルール				
	10	著作権				
	11	問題演習1				
	12	問題演習2				
	13	問題演習3				
	14	試験対策				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	ITの職業と情報倫理		電子開発学園		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	科目試験(80%) 平常点(20%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：IT-共-07

科目名		時間数(90分)			
IT戦略とマネジメント		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	企業におけるIT戦略で重要となる「システム戦略」「経営戦略」「企業と法務」「プロジェクトマネジメント」「サービスマネジメント」について、講義を通して用語知識を習得する。				
学習到達目標	企業の様々なプロジェクトに対し、IT化を推進する人材としてアドバイスできる基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	企業活動			
	2	企業会計			
	3				
	4	応用数学			
	5				
	6	OR			
	7				
	8	IE分析とQC手法			
	9	業務分析			
	10				
	11	法務と標準化			
	12				
	13	(確認試験1)			
	14	経営戦略マネジメント			
	15	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	IT戦略とマネジメント	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	IT戦略とマネジメント サブノート	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：IT-共-01

科目名		時間数(90分)			
ハードウェア		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	コンピュータのハードウェアとしての構成要素や動作原理について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。				
学習到達目標	ハードウェアから見たコンピュータの構成要素や動作原理を理解して、システムのハードウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	コンピュータの種類と五大装置			
	2	データの表現と基数			
	3	基数変換			
	4				
	5	データの表現形式			
	6				
	7	中央処理装置と主記憶装置の構成			
	8	命令とアドレッシング			
	9	ALUの回路構成			
	10	高速化技術			
	11	磁気ディスク			
	12	その他の補助装置			
	13	入力装置と出力装置			
	14	入出力制御とインタフェース			
	15	まとめ(科目試験)			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	ITワールド サブノート	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：IT-共-02

科目名		時間数(90分)				
システムとソフトウェア		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	コンピュータのソフトウェアとしての構成要素やインタフェース設計について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。					
学習到達目標	ソフトウェアから見たコンピュータの構成要素やインタフェース設計を理解して、最適なソフトウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	情報処理システムの処理形態				
	2	高信頼化システムの構成				
	3	情報処理システムの評価				
	4					
	5	ヒューマンインタフェース				
	6					
	7	マルチメディア				
	8	ソフトウェアの分類				
	9	オペレーティングシステム				
	10					
	11	プログラム言語				
	12	ファイル				
	13					
	14					
	15	まとめ(科目試験)				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	ITワールド		株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	ITワールド サブノート		株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	ITパスポート試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
ネットワークとセキュリティ		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	<p>ネットワーク及び情報セキュリティの概念と技術に関する知識を、講義を通して習得する。</p> <p>本科目は IT 企業でネットワークエンジニアとして業務経験を持つ講師が、ネットワークの基本的な知識からトラブルシューティングまでの業務について実務に即した講義をおこなう。</p>					
学習到達目標	<p>ネットワーク分野とセキュリティ分野において、その概念を理解するのに必要な用語知識を身に付ける。</p>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	インターネット				
	2	標準プロトコル				
	3	ネットワークアーキテクチャ				
	4	LAN と MAC アドレス				
	5	接続装置とその他の LAN 技術				
	6	ネットワークの構成要素				
	7	通信技術と伝送制御				
	8	ネットワーク管理				
	9	中間試験(ネットワーク分野)				
	10	情報セキュリティの概念				
	11	情報セキュリティ技術				
	12	情報セキュリティの管理と評価				
	13	セキュリティ対策				
	14					
	15	最終試験(セキュリティ分野)				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	IT ワールド		株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	IT ワールド サブノート		株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
	中間試験(ネットワーク分野) (50%) 最終試験(セキュリティ分野) (50%)					

科目名		時間数(90分)			
データとアルゴリズム		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	データベースの「概念」「データベース管理システム(DBMS)」「正規化」「SQL」、及びプログラミングで必要となる「データ構造」「アルゴリズムの表現法」「代表的なプログラミング言語とその特徴」について、講義と練習問題を通して基礎的な知識を身に付ける。				
学習到達目標	データベースシステムの動作原理や利活用と基本的な設計、及びデータ構造と基本形となるアルゴリズムを理解して、後続科目やプログラミングで必要となるアルゴリズムの基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	データベースの設計			
	2	データベース管理システム(DBMS)			
	3	SQL			
	4				
	5	いろいろなデータベース			
	6	中間試験(データベース分野)			
	7	データ構造			
	8				
	9	フローチャート			
	10	線形探索法			
	11	2分探索法/ハッシュ探索法/計算量			
	12	データ整列処理			
	13	その他のアルゴリズム			
	14				
	15	最終試験(アルゴリズム分野)			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	ITワールド サブノート	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験 中間試験(データベース分野)(50%) 最終試験(アルゴリズム分野)(50%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
アルゴリズム		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	<p>基本となるアルゴリズムについて、講義と演習問題を通してフローチャート及び疑似言語を用いて表現できる知識を習得する。</p> <p>本科目はIT企業でプログラマ、システムエンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、幅広い知識と研究成果を活かして講義する。また、現場で起こりがちな注意点についても指導する。</p>				
学習到達目標	<p>プログラミングの基本となるアルゴリズムを理解し、様々な問題解決ができる知識と能力を身に付けるとともに、情報処理技術者試験「基本情報技術者試験」のアルゴリズム問題が解けるようになる。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	アルゴリズムとは	16	ハッシュ探索	
	2	問題分析	17	2分探索	
	3	流れ図(フローチャート)	18	探索の計算量	
	4	基本制御構造	19	基本選択法	
	5	疑似言語	20	ヒープソート	
	6	アルゴリズムの評価基準	21	基本交換法	
	7	配列	22	シェーカーソート	
	8	ハッシュ表	23	基本挿入法	
	9	リスト	24	シェルソート	
	10	単方向リストの基本操作	25	クイックソート	
	11	スタック	26	マージソート	
	12	キュー	27	総当たり法/KMP法	
	13	木構造	28	ボイヤ・ムーア法	
	14	2分木の基本操作	29	グラフ理論	
	15	線形探索	30	経路探索	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	データ構造とアルゴリズム	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
システム開発と情報戦略		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	<p>システム開発の流れ（プロセス）、開発手法 及び 企業における情報戦略の考え方や知識を、講義を通して学習する。</p> <p>本科目は IT 企業でプログラマ、システムエンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、システム開発プロセスに従って、企業における情報システムの役割について講義する。また、現場の開発経験を交えながら、陥りやすい失敗例についても指導する。</p>				
学習到達目標	<p>システム開発の流れと各工程の役割で必要な手法や手順を理解することで、最適なシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	システム開発プロセス			
	2				
	3	ソフトウェア実装プロセス			
	4				
	5	保守・廃棄プロセス			
	6	ソフトウェア開発/設計手法			
	7				
	8				
	9	システム開発環境と Web アプリケーション			
	10	中間試験(システム開発分野)			
	11	情報システム戦略			
	12				
	13	情報システム企画			
	14				
	15	最終試験(情報戦略分野)			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	IT 戦略とマネジメント	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	IT 戦略とマネジメント サブノート	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験 中間試験(システム開発分野) (50%) 最終試験(情報戦略分野) (50%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：共通-104

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
ビジネスソフト活用1				15	15	
科目概要	表計算ソフト(Excel)の基礎機能から、応用機能まで一連の操作を通してビジネスソフトを有効活用する方法を学習する。また、MOS(Excel)の資格取得に必要な技術力を身につける。					
学習到達目標	表計算ソフト(Excel)の基礎機能から応用機能の操作までが行える技術を身につける。また、MOS(Excel)の資格を取得する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	基礎練習1				
	2	基礎練習2				
	3	基礎練習3				
	4	模擬試験1 練習				
	5	模擬試験1				
	6	模擬試験2 練習				
	7	模擬試験2				
	8	模擬試験3 練習				
	9	模擬試験3				
	10	模擬試験4 練習				
	11	模擬試験4				
	12	模擬試験5 練習				
	13	模擬試験5				
	14	総復習1				
	15	総復習2				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	MOS 攻略問題集 Excel 2019		日経BP社		
実習環境	Excel 2019					
目標資格	資格名			実施団体		
	Microsoft Office Specialist Excel 2019			Microsoft		
成績評価方法	模擬試験 (50%) 資格試験 (40%) 平常点 (10%) ※授業終了後、速やかに資格試験を受験する			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
ヒューマンスキル			15		15	
科目概要	社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」について、ストーリーベースドラーニング(SBL: Story Based Learning)方式でグループ討議を中心にした演習を通して社会人としての素養を習得する。					
学習到達目標	経済産業省が提唱する社会人基礎力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」をグループ演習で習得し、社会人としての振る舞いやチームワークを意識した行動を実践する力を身に付ける。					
講義計画	回	内容			回	内容
	1	基礎編：社会人基礎力の概要、働きかけ力				
	2	基礎編：傾聴力、状況把握力				
	3	基礎編：発信力、主体性				
	4	基礎編：課題発見力、計画力、規律性				
	5	基礎編：柔軟性、創造力、実行力				
	6	基礎編：ストレスコントロール力				
	7	応用編：働きかけ力、状況把握力				
	8	応用編：実行力、柔軟性				
	9	応用編：規律性、創造力、ストレスコントロール力				
	10	応用編：課題発見力、計画力、主体性				
	11	応用編：傾聴力、発信力				
	12	実践編：市場ニーズと仮説の検証				
	13	実践編：解決策のアイデア				
	14	実践編：プレゼンテーションの準備				
	15	実践編：プレゼンテーション				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	ヒューマンスキル		電子開発学園		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	演習評価(100%) 別途定める評価シートに基づく			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：SYS-共-02

科目名		時間数(90分)			
J A V A		講義	演習	実習	合計
		21	6	33	60
科目概要	<p>企業のシステム開発やアプリ開発でニーズが高い Java について、講義・机上演習・実習を通して基本文法から基本的なアルゴリズムのプログラミングまでを習得する。            本科目は IT 企業でプログラマ、システムエンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、JAVA 言語の文法から基本的なプログラミング手順、ライブラリの活用方法について講義および指導する。</p>				
学習到達目標	<p>Java の基本文法や標準ライブラリを使用して、基礎的なアルゴリズムのプログラミングができる技術を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Java の特徴と開発の流れ	26	プログラミング実習 (配列 2)	
	2	Java の開発環境と基本構造	27	プログラミング演習 (トレース)	
	3	変数宣言の文	28	まとめ	
	4	プログラミング演習 (変数宣言の文)	29		
	5	式と演算子 1	30	科目試験 (中間)	
	6	プログラミング演習 (式と演算子 1)	31	メソッド 1	
	7	式と演算子 2	32		
	8	プログラミング実習 (式と演算子 2)	33	プログラミング演習 (メソッド 1)	
	9		34	プログラミング実習 (メソッド 1・引数/戻り値)	
	10	条件分岐 1	35	メソッド 2	
	11	プログラミング演習 (条件分岐 1)	36	プログラミング実習 (メソッド 2・オーバーロード)	
	12	条件分岐 2	37	複数クラスを用いた開発	
	13	プログラミング実習 (条件分岐 2)	38	プログラミング実習 (パッケージ/Java API)	
	14		39	総合実習課題	
	15	繰り返し 1	40	総合プログラミング実習	
	16	プログラミング演習 (繰り返し 1)	～		
	17	プログラミング実習 (繰り返し 1)	57		
	18	繰り返し 2	58	まとめ	
	19	プログラミング実習 (繰り返し 2)	59		
	20	配列 1	60	科目試験	
	21				
	22	プログラミング演習 (配列 1)			
	23	プログラミング実習 (配列 1)			
	24	配列 2			
	25	プログラミング実習 (配列 2)			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	スッキリわかる Java 入門	株式会社インプレス		
	副教材	PDF 補助資料			
実習環境	<p>JDK + 統合開発環境(Eclipse 推奨)            Web ブラウザ</p>				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<p>科目試験 (80%)            実習課題 (20%)</p>		<p>&lt;評価基準&gt; 100～90点：秀            89～80点：優            79～70点：良            69～60点：可            59点以下：不可</p>		

科目名		時間数(90分)					
ネットワーク応用1		講義	演習	実習	合計		
		15			15		
科目概要	ネットワーク構成の理論や設計方法について、講義を通して必要な知識と具体的手法を習得する。						
学習到達目標	システムエンジニアやネットワークエンジニアに必要なネットワーク理論やネットワーク設計方法を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	基本的なネットワークの理論と概念 通信技術の基本要素 ネットワーク通信とプロトコル		8	基本的なルーティングの考え方とプロトコル (ゲートウェイルーティング、高可用性)		
		OSI 参照モデルとは			9	適切なアドレッシング設定を行う (IPv6)	
		TCP/IP プロトコルスイート				さまざまな WAN テクノロジーの特徴とメリット	
	2	さまざまなケーブルとコネクタ ネットワーク機器の設置と配線		10	ネットワークの違い		
		イーサネット(有線接続)ネットワーク			ネットワークサービスとアプリケーションの利用		
	3	一般的なネットワークテクノロジーの違い 適切なアドレッシング設定を行う (MAC アドレス)		11	ネットワークサービス /アプリケーションの設置や設定		
		基本的なネットワークの実装			ネットワーク設備の安全対策		
	4	さまざまなネットワークデバイスの機能と役割		12	クラウドや仮想化をサポートするテクノロジー		
	5	適切なアドレッシング設定を行う (IPv4)		13	ワイヤレス接続ネットワーク		
	6	適切なアドレッシング設定を行う (NAT/PAT、キャスト)		14	科目試験		
	7	基本的なルーティングの考え方とプロトコル (静的・動的ルーティング、ルーティングプロトコル)		15			
	使用教材	主教材	ストーリーで学ぶ ネットワークの基本			インプレス	
	実習環境						
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	ネットワークスペシャリスト試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
成績評価方法	科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：SYS-開-03

科目名		時間数(90分)			
SQL基礎		講義	演習	実習	合計
		10	5		15
科目概要	データベース操作言語（SQL）とデータの正規化について、演習を中心とした授業を通して実践的に学習する科目である。				
学習到達目標	実践的なデータベース操作言語（SQL）とデータの正規化を理解し、企業等でデータベーススペシャリストとして活躍するための基礎力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	SELECT文の基本 集合関数	9 10	追加・更新・削除 テーブル&ビューの作成	
	2	WHERE句	11	データベース設計	
	3	GROUP BY句	12	データ正規化演習	
		HAVING句	13		
	4	CASE式	14	科目試験	
		ORDER BY句	15		
		DISTINCTキーワード			
	5	副問い合わせ			
		ASキーワード			
	6	JOIN句			
	7	OUTER JOIN句			
	8	EXISTS句			
		UNION演算子			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	改訂3版 すらすらと手が動くようになるSQL書き方ドリル	技術評論社		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	データベーススペシャリスト試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	ORACLE MASTER Bronze SQL 基礎		オラクル		
成績評価方法	科目試験(80%) 演習評価(20%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：SYS-ネ-01

科目名		時間数(90分)			
SEA/J基礎		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	情報セキュリティ全般の知識について、SEA/J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。				
学習到達目標	SEA/J基礎(CSBM)資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報セキュリティマネジメント	15	ID管理と認証、パスワード認証、	
	2	セキュリティ運用		バイオメトリクス認証、認証デバイス	
	3	インフラセキュリティ	16	認証プロトコル、シングルサインオン、	
	4			アクセス制御手法	
	5	不正アクセス	17	プログラミング	
	6	ファイアウォールの概念	18	不正プログラム	
	7	ネットワークアクセスコントロール NAT	19	不暗号の基礎、共通鍵	
			20	公開鍵、その他の鍵	
	8	ファイアウォールの導入と運用	21	電子署名	
	9	IDSの概要と構成 検知アルゴリズム	22	PKI	
			23	セキュリティプロトコル	
	10	侵入検知関連技術	24	標準規格	
	11	アプリケーションセキュリティ (DNS、電子メール)	25	法令	
			26	資格試験対策	
12	アプリケーションセキュリティ (Web)	27			
		28			
13	サービス管理、ファイルシステム管理、 アカウント管理、ネットワーク保護	29	科目試験		
		30			
14	修正プログラムの管理、ログ管理、 監査機能、TrustedOS				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト	SEA/J		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報セキュリティ技術認定 基礎(CSBM)		SEA/J		
	基本情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
成績評価方法	科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：SYS-開-01

科目名		時間数(90分)			
HTMLとCSS		講義	演習	実習	合計
		1		14	15
科目概要	ホームページ作成やWebアプリケーション開発で必要となる「HTML」「CSS」について、実習課題を通して基本文法から活用法までを習得する。				
学習到達目標	Webサイトデザインの基礎を取得し、サイトを構築する基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Web制作の概要	8	背景の指定	
2	Webデザインの基礎			ボックスモデル	
		HTMLの概要とHTML5の主要要素		ボックスモデルのレイアウト	
		見出し、段落	9	マルチカラム	
		定義語・略語		display:flex	
3	文字飾り			ナビゲーションのデザイン	
		リスト表示	10	テキストの回り込み	
		画像の表示		枠線と背景	
		自サイトへのリンク	11	Webサイト作成の流れ	
4	外部サイトへのリンク			構造化	
		ナビゲーション	12	CSSの適用	
		セクション		Webページで動画を再生しよう	
5	フォーム		13	canvasで図形を描こう	
		CSSの基本		ライブラリを使いこなそう	
6	セレクタ		14	GoogleMapsで地図を表示しよう	
		Class名とid名		実習課題まとめ	
		CSSの記述場所	15		
		基本のCSS			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	30時間アカデミック Webデザイン	実教出版		
実習環境	Webブラウザ				
	TeraPad				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	課題提出(全30課題)(100%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：共通-106-1

科 目 名		時間数(90分)					
特別講座Ⅰ（情報マルチメディア科・システム系）		講 義	演 習	実 習	合 計		
		240	0	0	240		
科 目 概 要	「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の資格取得にむけた対策講座を実施する。						
学 習 到 達 目 標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 ～ 180	対策授業（10月国家試験） ・基本情報技術者 ・午前免除対策（6,7月）					
	181 ～ 240	対策授業（4月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者 特別授業					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	プリント資料（過去問題など）					
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
成 績 評 価 方 法	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可						

科目番号：GAME-101

科目名		時間数(90分)				
C言語		講義	演習	実習	合計	
		15		30	45	
科目概要	C言語を使ったプログラミングについて、講義から実習を通して、基本となるプログラミング能力を習得する。					
学習到達目標	C言語を基礎から学習して、C言語を使ったプログラミングができる技術を身につける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	C言語について		16	実習2	
	2	基本プログラム1(型)		17	実習3	
	3	基本プログラム2(演算子)		18	実習4	
	4	制御文1(if)		19	実習5	
	5	制御文2(for)		20	実習6	
	6	制御文3(while)		21	実習7	
	7	制御文3(その他)		22	実習8	
	8	配列とポインタ1(配列)		23	実習9	
	9	配列とポインタ2(ポインタ1)		24	実習10	
	10	配列とポインタ2(ポインタ2)		25	総合開発実習	
	11	関数1(関数の呼び出し)				
	12	関数2(引数の引き渡し)				
	13	構造体1		43	試験対策	
	14	構造体2		44		
	15	実習1		45		
使用教材	書籍名		出版社			
	主教材	Cの絵本 C言語が好きになる新しい9つの扉		翔泳社		
	副教材					
実習環境	jcPad					
目標資格	資格名		実施団体			
成績評価方法	科目試験(70%) 実習評価(30%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目名		時間数(90分)			
デザイン実践		講義	演習	実習	合計
		15		15	30
科目概要	<p>CGアプリケーション(「Photoshop」「Illustrator」「Maya」)を使ったデジタルコンテンツの制作について、講義と実習課題を通して基礎知識と基本操作を習得し、各アプリケーション間の連携作業を身に付ける。</p> <p>本科目は企業でデザイン、CG、Webデザイン等の実務経験をもつ講師が担当し、デジタルデザインの考え方からデザインツールの活用方法まで講義する。また、学生のコンテスト応募について、アドバイス、指導をおこなう。</p>				
学習到達目標	<p>ゲーム会社やデザイン会社で実際に使われているソフトウェアを連携して使って、デジタルコンテンツ制作の基礎力を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	デジタルデザイン	19	マッピング	
	2	2次元グラフィックス	20	実習(マテリアル表現)	
	3	実習(ドロー系ソフトの基本操作)	21	シーンレイアウト	
	4	CGソフトにおける色の表現		ライティング	
	5	実習(ドロー系ソフトの応用操作)	22	カメラポジション	
	6	ペイント系ソフト		レンダリング	
	7	実習(フォトレタッチ)	23	実習(レンダリング)	
	8	写真撮影技法	24	様々な3DCG表現技法	
	9	実習(ラスタ画像編集)	25	合成処理	
	10	3次元グラフィックス	26	総合実習(デザインの考え方)	
	11	実習(3DCGソフトの基本操作)	27	総合実習(デザインの条件と意図の重要性)	
	12	様々なモデリング手法	28	総合実習(画像データの出力方法)	
	13	実習(基本モデリング)	29	アニメーションの基礎	
	14	実習(モチーフの観察と部品の設計)	30	科目試験	
	15	実習(モチーフのモデリング1)			
	16	モデルの構造、マテリアル表現の基礎			
	17	実習(モチーフのモデリング2)			
	18	実習(モチーフのモデリング3)			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	デジタル映像表現 -CGによるアニメーション制作-[改訂新版]	CG-ARTS 協会		
実習環境	Photoshop(Adobe)				
	Illustrator(Adobe)				
	Maya(Autodesk)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(50%) 実習評価(50%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：CRE-ゲ-01

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
ゲームプランニング		10	5		15
科目概要	<p>ゲーム開発の第一歩である企画書の作成について、講義と演習を通して発想から企画書の作成までを習得する。</p> <p>本科目はゲーム開発企業でゲーム開発エンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、様々なアイデア発案からゲームの企画書をまとめるまでの工程を、開発経験を活かし講義する。</p>				
学習到達目標	<p>ゲームを開発するための発想法から、そのアイデアを整理して企画書を作成するまでができるようになる。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ゲーム制作の基礎知識	10	ジャンル別 企画書作成のポイント	
	2	ゲームの企画書		総合演習	
	3	プランナー	11	総合演習	
	4	グループ作成演習	12	ブラッシュアップ	
	4	アイデアの抽出		クリンナップ	
	5	ブレインストーミング&KJ法演習	13	総合演習	
	6	企画書のレイアウト	14	科目のまとめ&作品紹介	
	7	ビジュアルの重要性	15	科目試験	
	8	プレゼンテーション			
	9	アイデアのまとめ演習			
	9	企画書の作り方と仕様書			
	9	総合演習			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	配布資料			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(40%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		
	演習課題(60%) 別途定める評価シートに基づく				

科目番号：GAME-102

科目名		時間数(90分)			
マルチメディア技術 (ベーシック)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	マルチメディア技術の知識について、CG-ARTS 協会主催のマルチメディア検定ベーシックコースの講義と問題を通して習得する。				
学習到達目標	マルチメディア検定ベーシックを取得し、マルチメディア技術の基礎知識を習得する				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	マルチメディアとは	15	オンラインショッピング	
	2	アナログとデジタル		金融サービス	
	3	デジタル端末・ハードウェア	16	コンテンツ配信	
	4			広告とマーケティング	
	5	オペレーティングシステム	17	情報家電	
	6	ヒューマンインタフェース	18	IOT	
	7	ポータブル記憶メディア	19	ゲーム技術	
		ファイルフォーマット	20	ICカード	
	8	文書の作成	21	交通情報	
	9	映像や音声の編集と再生 画像の作成	22	行政とIT	
			23	セキュリティ	
	10	三次元のCG	24	個人情報保護法	
	11	モデリング レンダリング	25	知的財産権	
			26		
12	WEBページの作成 スクリプト言語の利用	27	資格試験対策		
		28			
13	インターネットの仕組みと役割 ブロードバンドネットワーク	29	科目試験		
		30			
14	モバイル通信 WWW, 各プロトコル				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	入門マルチメディア	CG-ARTS 協会		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	マルチメディア検定 ベーシック		CG-ARTS 協会		
成績評価方法	科目試験(60%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
	資格試験(40%)				

科目番号 : GAME-103

科目名		時間数(90分)					
ゲーム企画演習		講義	演習	実習	合計		
			15		15		
科目概要	2年次のゲーム制作に使用する企画書の作成を行う。 メディア授業のゲームプランニング後に行う科目として企画書の作り込みやポイント等を理解する。						
学習到達目標	コンセプトとターゲットを明確にし、アイデアを整理してゲーム制作に使用できる企画書を作成できるようになる。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	作り方の説明 アイデア出し		9	パワーポイント(PC)		
				10			
	2	下書き作成(紙)		11			
		アイデア出し		12			
	3			13			
	4			14			
	5			15			完成(ブラッシュアップ)
	6	下書き作成(紙)					
	7						
8							
使用教材	書籍名			出版社			
実習環境	PowerPoint						
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	演習評価(100%)			<評価基準> 100~90点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可			

科目名		時間数(90分)			
デザイン理論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	色彩や物体の配置などデザインの要素が引き起こす様々な効果について、講義と実例を通して「分析」「評価」「コントロール」する基礎的な知識と技法を学習する。				
学習到達目標	ビジュアルデザインに関する知識や技術を学習することにより、デザインの中に自分の意図を明確に表現する方法を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	デザイン分野とデザインの本質	10	線遠近法以外の遠近法 調子で表す立体感	
	2	色の基本的な知識		平面構成	
	3	色による感情効果	11	表現法	
		色の対比と同化			
	4	配色法	12	美の秩序と構成の基本	
	5	色の特徴	13	配置による感情効果	
	6	観察の重要性	14	デザインプロセス	
		観察方法としてのデッサン		デザイナーの心得	
	7	プリミティブによる観察	15	デジタルデザインへ	
		遠近法の基礎知識		科目試験	
	8	一点透視法の利用			
		二点透視法の利用			
	9	三点透視法の利用			
		線遠近法の応用			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	デザイン理論	電子開発学園		
	副教材	配色カード、スケッチブック、色鉛筆、鉛筆(2B、6B)、消しゴム、定規、のり、はさみ、カッターナイフ			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(50%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		
	演習作品(50%) 別途定める評価シートに基づく				

科目番号：CRE-ゲ-05

科目名		時間数(90分)			
キャラクター描画		講義	演習	実習	合計
		13	2		15
科目概要	リアリティのあるキャラクターを描写するために人体構造の知識や描画技法について、講義と演習を通して習得する。				
学習到達目標	人体の構造とキャラクター描画の基本やテクニックを習得し、リアリティを持ったゲームやイラストのキャラクターを描画できるようになる。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	キャラクターの表現			
	2	キャラクターの立体感			
	3	人体の構造と描画テクニック1 全身			
	4	人体の構造と描画テクニック2 頭部			
	5	人体の構造と描画テクニック3 胴体			
	6	人体の構造と描画テクニック4 腕と手			
	7	人体の構造と描画テクニック5 脚と足			
	8	人体の構造と描画テクニック6 髪とアクセサリ			
	9	人体の構造と描画テクニック7 年齢			
	10	人体の構造と描画テクニック8 重心と動作			
	11	人体の構造と描画テクニック9 衣服			
	12	イラスト制作1			
	13	イラスト制作2			
	14	講評・総括			
	15	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	キャラクター描画	学園オリジナル		
	副教材	鉛筆(シャープペンシル) 消しゴム			
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(50%) 課題提出(50%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：共通-106-2

科目名		時間数(90分)				
特別講座Ⅰ（情報マルチメディア科・ゲームCG系）		講義	演習	実習	合計	
		210			210	
科目概要	「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の資格取得にむけた対策講座を実施する。					
学習到達目標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 180	対策授業（10月国家試験） ・基本情報技術者 ・午前免除対策（6,7月）				
	181 ～ 210	対策授業（4月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者 特別授業				
使用教材	書籍名			出版社		
	プリント資料（過去問題など）					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法						
				<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
就職指導		講義	演習	実習	合計	
		10	20		30	
科目概要	就職活動を円滑にすすめるための業界研究、企業調査、自己分析の方法について、講義と演習課題を通して習得する。また、企業セミナーや個別企業説明会、OB・OG訪問参加の際のマナー、採用試験として実施される適性検査(SPI試験)、論作文、グループディスカッション、面接(集団、個人)試験の対策を演習と講義で学習する。					
学習到達目標	就職活動の中で発生する様々なイベントにおいて、個人の有する能力を最大限発揮できるように準備する。就職活動は、個人ごとの基礎学力や性格、到達目標が異なるため科目としての評価は実施しない。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	SPI問題	自己分析	16	SPI問題	志望動機の考え方
	2	SPI問題	自己分析	17	SPI問題	志望動機の考え方
	3	SPI問題	自己分析	18	SPI問題	志望動機の考え方
	4	SPI問題	自己分析	19	SPI問題	履歴書の書き方
	5	SPI問題	業界調査	20	SPI問題	履歴書の書き方
	6	SPI問題	業界調査	21	SPI問題	履歴書の書き方
	7	SPI問題	業界調査	22	SPI問題	履歴書の書き方
	8	SPI問題	業界調査	23	SPI問題	履歴書の書き方
	9	SPI問題	企業分析の方法	24	SPI問題	採用試験(作文)
	10	SPI問題	企業分析の方法	25	SPI問題	採用試験(作文)
	11	SPI問題	企業分析の方法	26	SPI問題	採用試験(個人面接)
	12	SPI問題	エントリーシートの書き方	27	SPI問題	採用試験(個人面接)
	13	SPI問題	エントリーシートの書き方	28	SPI問題	採用試験(グループワーク)
	14	SPI問題	エントリーシートの書き方	29	まとめ1	
	15	SPI問題	志望動機の考え方	30	まとめ2	
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	最新最強の適性検査クリア問題集		成美堂出版編集部		
	副教材	プリント資料				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可					

科目番号：共通-201

科目名		時間数(90分)				
セキュリティ応用		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	<p>情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。            本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティについての実務経験を持つ講師が、IoT 社会で、さらに重要となるセキュリティ技術について講義する。</p>					
学習到達目標	<p>情報セキュリティ分野の高度な知識や技術を理解するとともに、企業のセキュリティ部署において活躍できる基礎力を身に付ける。</p>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	情報セキュリティの重要性と機密管理				
	2	ISMS と情報セキュリティポリシー				
	3	リスク分析と評価				
	4	セキュリティ技術評価				
	5	情報セキュリティ技術				
	6	パスワード管理と認証技術				
	7	電子証明書と PKI				
	8	ソーシャルエンジニアリング				
	9	DoS 攻撃とマルウェア				
	10	技術的セキュリティ対策				
	11					
	12	アプリケーションセキュリティ				
	13	物理的・人的セキュリティ対策				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	セキュリティ応用		電子開発学園		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：共通-202

科目名		時間数(90分)				
ヒューマンインタフェース論		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	<p>身の回りの様々なインタフェースの評価や設計を行い、良いヒューマンインタフェースの条件を学習する。また、使い勝手の悪いインタフェースを設計する体験を通して、失敗の原因となる要素の把握方法と対処方法を習得する。</p> <p>本科目はIT企業でプログラマ、システムエンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、システム開発におけるユーザインタフェース設計の重要性と注意点を、開発経験を交えながら講義する。</p>					
学習到達目標	<p>「人間の多様性と、共通して持つ感覚」、「扱うデバイスの特性」を理解し、良いインタフェースとは何かを考えて設計できるようになる。</p>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	プロローグ:インタフェースの世界を旅しよう				
	2	人間の行動と、使いやすさ				
	3	「使いやすいインタフェース」と「使いにくいインタフェース」の違いは、何だろう				
	4	プロトタイピング(1)				
	5	プロトタイピング(2)				
	6	「視覚」…人類が、最も頼りにする感覚				
	7	色の世界				
	8	文字、単語、メッセージ				
	9	「聴覚」…全方向の情報を把握できる感覚器官				
	10	機器特性(1)				
	11	機器特性(2)				
	12	身体特性・行動特性とユニバーサルデザイン				
	13	新しいインタフェースの世界 (AR/MR/VR、触覚インタフェース)				
	14	エピローグ:これからのインタフェースを考えてみよう				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	改訂 ヒューマンインタフェース論		エスシーシー		
	副教材	確認問題 演習課題				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	科目試験(100%)			<p>&lt;評価基準&gt; 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可</p>		

科目番号：共通-203

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
卒業研究				120	120	
科目概要	学科ごとの集大成として、テーマに沿ったソフトウェア開発を行い、グループワークの難しさを理解する。					
学習到達目標	企画立案から設計・開発・発表までの工程を学科の特色に沿った、ソフトウェア製品の開発を通して、計画性・協調性の他、報告・連絡・相談の大切さの重要性を理解する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 10	企画検討				
	11 ～ 30	設計およびレビュー				
	31 ～ 90	開発およびテスト				
	91 ～ 110	発表準備等				
	111 ～ 120	発表会				
使用教材	書籍名			出版社		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	作品提出および発表内容による総合評価 別途定める評価シートに基づく			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-201

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
J A V A 2		2		13	15
科目概要	<p>1年次の復習および次科目のオブジェクト指向プログラミングに対する準備科目として実施する。</p> <p>本科目はIT企業でプログラマ、システムエンジニアの実務経験をもつ講師が担当し、開発の流れおよび条件式、繰り返しおよび配列の活用方法について、開発経験を交えながら講義する。</p>				
学習到達目標	<p>Javaの基本文法や標準ライブラリを使用して、基礎的なアルゴリズムのプログラミングができる技術を身に付ける。(オブジェクト指向プログラミングの前科目)</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Javaの特徴と開発の流れ			
	2	Javaの開発環境と基本構造			
	3	プログラミング演習(式と演算子1)			
	4	プログラミング演習(条件分岐1)			
	5	プログラミング演習(繰り返し1)			
	6	プログラミング演習(配列1)			
	7	プログラミング実習(配列1)			
	8				
	9	メソッドとは			
	10	プログラミング演習(メソッド1)			
	11	プログラミング実習(引数/戻り値)			
	12				
	13	総合プログラミング実習			
	14				
	15	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	スッキリわかるJava入門	株式会社インプレス		
	副教材	PDF補助資料			
実習環境	<p>JDK + 統合開発環境(Eclipse推奨)</p> <p>Webブラウザ</p>				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<p>科目試験(80%)</p> <p>実習課題(20%)</p>		<p>&lt;評価基準&gt; 100~90点: 秀</p> <p>89~80点: 優</p> <p>79~70点: 良</p> <p>69~60点: 可</p> <p>59点以下: 不可</p>		

科目番号：シス-202

科目名		時間数(90分)			
オブジェクト指向プログラミング		講義	演習	実習	合計
		6		24	30
科目概要	オブジェクト指向の基本的な考え方、ポリモーフィズム、カプセル化、例外、スレッドなどの機能について、講義と実習問題を通して、システムを構築する知識を学習する。				
学習到達目標	Javaの基本文法やライブラリを利用して、オブジェクト指向プログラミングができる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	オブジェクト指向とは	22	カプセル化とアクセス制御	
	2	Javaの復習(プログラム構造、型と定数/変数、文字列)	23	静的メンバ	
	3	Javaの復習(配列、演算子)	24	例外処理	
	4	Javaの復習(制御構造)	25		
	5	クラス	26	スレッド	
	6	インスタンス	27		
	7		28	課題制作	
	8	クラス型変数	29		
	9	コンストラクタ	30	科目試験	
	10	継承			
	11	オーバーライド			
	12	インスタンスの中身			
	13	汎化・特化			
	14	継承の応用			
	15	抽象クラス			
	16	インタフェース			
	17				
	18	多態性			
	～				
	21				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	スッキリわかるJava入門	株式会社インプレス		
	副教材	PDF補助資料			
実習環境	JDK + 統合開発環境(Eclipse 推奨)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(50%) 演習課題(50%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-203

科目名		時間数(90分)			
Linux		講義	演習	実習	合計
				15	15
科目概要	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。				
学習到達目標	Linuxの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Linuxの概要	13	総合実習 科目試験	
2	ユーザ管理	14			
3	プロセス	15			
4	ファイルシステムとディレクトリの操作				
5	パーミッション				
6	シンボリックリンクとパス指定				
7	エディタ (vi の基本操作)				
8	エディタ (vi を使ったファイル編集)				
9	ネットワークとバックアップ関連コマンド				
10	シェル				
11	シェルの操作				
12	シェルスクリプト				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	イラストでそこそこわかるLinux	翔泳社		
実習環境	Tera Term (または telnet, ssh 接続のできるターミナルソフト)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(70%) 実習課題(30%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-204

科目名		時間数(90分)				
オラクルSQL		講義	演習	実習	合計	
		12	33		45	
科目概要	代表的なデータベースである Oracle を使い、データベースの活用法を学習しオラクルマスターSQL基礎の取得を目指す。					
学習到達目標	実践的なデータベース操作言語（SQL）とデータの正規化を理解し、企業等でデータベーススペシャリストとして活躍するための基礎力を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	SELECT文の基本 集合関数		9	追加・更新・削除	
	2	WHERE句		10	テーブル&ビューの作成	
	3	GROUP BY句		11	データベース設計方法	
		HAVING句		12	データ正規化演習	
	4	CASE式		13		
		ORDER BY句		14		
		DISTINCTキーワード		15	オラクル試験対策	
	5	副問い合わせ		～		
		ASキーワード		44		
	6	JOIN句		45	科目試験	
	7	OUTER JOIN句				
	8	EXISTS句				
		UNION演算子				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	オラクルマスター教科書 Silver SQL Oracle Database SQL		翔泳社		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	データベーススペシャリスト試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	ORACLE MASTER Silver SQL			オラクル		
成績評価方法	科目試験(80%) 演習評価(20%) 別途定める評価シートに基づく			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-205

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
A I の活用と開発手法		9	3	3	15	
科目概要	AI (人工知能) の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通してA I 関連システムの開発に必要な知識を学習する。 本科目は IT 企業で、AI を実現するための機械学習やディープラーニングについての実務経験をもつ講師が担当し、AI システムを有効活用するためのシステム開発手法について講義する。					
学習到達目標	AI の基礎知識と現状を理解し、将来に向けた最適な AI の提案とシステム構築への応用力を身につける。					
講義計画	回	内容			回	内容
	1	A I の歴史				
	2	A I の発展過程				
	3	A I のビジネス活用				
	4	A I にできること				
	5	機械学習				
	6					
	7	ニューラルネットワーク				
	8	ディープラーニング (深層学習)				
	9	A I の実例 (顔検出)				
	10	A I の実例 (物体検出)				
	11	A I の実例 (まとめ)				
	12	A I の実装手段				
	13	A I の発達と影響を受ける産業				
	14	A I の将来				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	A I の活用と開発手法		電子開発学園		
実習環境	VirtualBox + Linux 仮想マシン					
目標資格	資格名			実施団体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
Webアプリケーション構築		講義	演習	実習	合計
		20	10	15	45
科目概要	Webの仕組みと、アプリケーションを開発するためのサーバサイド技術の理解 および サーブレット/JSP の概念とデータベース連携を行う Web アプリケーション開発手順を講義と実習を通して習得する				
学習到達目標	Web アプリケーションの動作原理 および サーブレット/JSP の仕組みを理解した上で、Web アプリケーション(MVC モデル、DAO モデル)の設計・実装することができる。 また、グループワークを通してチーム開発の難しさやメリット および 役割を理解することができる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Webのしくみと環境構築	31	データベースの利用	
2	32				
3	HTMLとWebページ	33	課題③		
4		34			
5	サーブレット	35	Webアプリケーション作成実習 (データベース)		
6		36			
7	JSP	37	Webアプリケーション設計		
8		38			
9	フォーム	39	グループ開発演習説明 環境構築		
10		40			
11	課題① サーブレット～フォームを用いた実習	41	グループ開発演習 スケジュール作成 報告書作成 Webアプリケーション作成 プレゼンテーション		
12		42			
13		43			
14	MVCモデル	44			
15		45			
16	リクエストスコープ				
17					
18	セッションスコープ				
19					
20	アプリケーションスコープ				
21					
22	課題② Webアプリケーション作成実習				
23					
24					
25	サーブレットクラス実行のしくみ				
26					
27	アクションとディレクティブ				
28					
29					
30					
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	すっきりわかるサーブレット&JSP入門	株式会社インプレス		
実習環境	JDK + 統合開発環境(Eclipse 推奨) Apache、DBMS (PostgreSQL 推奨)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	実習課題(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-207

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
SQL実習		15		30	45
科目概要	データベースの作成から、必要なデータの取得・集計方法について、実習と練習問題を通してAccessの基礎から応用テクニックまで習得する。				
学習到達目標	データベースの概念やAccessの操作を理解し、簡単なデータベースシステムが作成できるようになる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	データベースとは Accessの基本操作	16 ～ 45	練習問題(マシン実習)	
2	住所録の作成(設計とデータ入力)				
3	住所録の作成(印刷)				
4	フォームデザインの変更				
5	複数テーブルの利用				
6	フォームの活用(入力規則、式ビルダ)				
7	フォームの活用(コントロール)				
8	フォームの活用(プロパティシート)				
9	クエリの基本				
10	データ集計 ・計算結果の表示 ・データの集計				
11					
12					
13					
14	レポート作成				
15	外部データの取り込み				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	独自資料			
実習環境	Access2019				
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	実習課題(100%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-208

科目名		時間数(90分)			
テクニカルライティング		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	技術を伝えるための技術文書の記述方法を習得する。				
学習到達目標	技術文書として、解説書や取扱説明書、報告書、提案書を書くための記述方法を理解する。また、読者を意識した文書を記述することができる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ライティングについて			
	2	テクニカルライティングに挑戦する			
	3	テクニカルライティングを始める			
	4	事物・概念を書く			
	5	現象・法則を書く			
	6	方法・手順を書く			
	7	推測・予測を書く			
	8	評価・意見を書く			
	9	技術文書を構成する			
	10	さまざまな技術文書			
	11	自分の技術をまとめる			
	12	読者の技術を意識する			
	13	表・グラフ・写真・イラストを使う			
	14	文書を推敲する			
	15	科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	テクニカルライティング	朝倉書店		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(80%) 課題プリント(20%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-209

科目名		時間数(90分)					
特別講座Ⅱ（システム2年課程）		講義	演習	実習	合計		
		135			135		
科目概要	「基本情報技術者試験」、「応用情報技術者試験」、「オラクル SQL 基礎」、「オラクル DBA」、の資格取得にむけた対策講座を実施する。						
学習到達目標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1 ～ 43	対策授業（4月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者					
	44 ～ 61	対策授業 ・オラクル SQL（6月試験） ・オラクル DBA（7月試験）					
	62 ～ 135	対策授業（10月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	プリント資料（過去問題）					
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	データベーススペシャリスト試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構			
	ORACLE MASTER Bronze SQL 基礎			オラクル			
成績評価方法	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可						

科目番号：MM-201

科目名		時間数(90分)				
マルチメディア技術(エキスパート)		講義	演習	実習	合計	
		45			45	
科目概要	マルチメディア技術の知識について、CG-ARTS 協会主催のマルチメディア検定エキスパートの講義と問題を通して習得する。					
学習到達目標	マルチメディア検定エキスパートを取得し、マルチメディア技術の応用知識を習得する					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	情報の伝達とメディアの役割		15	インターネットの応用	
	2	コミュニケーションデザイン		16	ICT 技術	
	3	ヒューマンコンピュータインタラクション		17	知的財産権	
	4	マルチメディアの特徴		18	ハードウェア	
	5	カラーモデルマネジメントシステム		19		
	6	画像のデジタル化		20	マルチメディア検定用語対策	
	7	ラスタとベクタ		21		
	8	図形の数値表現		22		
	9	コンピュータシステムの仕組みと技術		23	模擬試験	
	10					
	11	ネットワークプロトコル		40		
	12	無線通信				
	13	セキュリティ		41	本番試験前講義	
	14	携帯端末				
	15	マルチメディアアプリケーションの実現				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	実践マルチメディア		CG-ARTS 協会		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	マルチメディア検定 エキスパート			CG-ARTS 協会		
成績評価方法	模擬試験(70%) 資格試験(30%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：MM-202

科目名		時間数(90分)			
モデリング基礎		講義	演習	実習	合計
				30	30
科目概要	3D制作ソフトの「MAYA」を使用し、3Dモデリングやマテリアル設定、レンダリングなどの基礎的な技術を習得する。				
学習到達目標	3Dモデルの制作に関連する原理や技術を理解し、基礎的な3Dモデルの製作ができるようになる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	3DCGの基礎知識	16	可動部の設定	
	2	UIと操作の基本	17	Human IK(ヒューマン IK)	
	3	ポリゴンモデリング	18	キャラコンテ	
	4		19		
	5	カーブ/サーフェスモデリング	20		
	6		21		
	7	マテリアル	22	3Dモデル制作	
	8		23		
	9	テクスチャマッピング	24		
	10		25		
	11	ライト、カメラ、レンダリング	26		
	12		27		
	13	イメージを具体化する	28		
	14		29		
	15	可動部の設定	30	講評	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	MAYA スターターブック	株式会社カットシステム		
実習環境	Maya (Autodesk)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	実習評価(100%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：MM-203

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
アニメーション技法		10		20	30
科目概要	<p>人体を用いたCGアニメーションに必要な技法や動きの表現について、講義と実習を通して基本原理から知識技術まで習得する。</p> <p>本科目はゲーム開発企業でCGエンジニアの実務経験を持つ講師が、ゲーム制作で必要となるCGアニメーションの実践的な技術について講義する。</p>				
学習到達目標	<p>CGアニメーションの制作に関連する原理や技術を理解し、基礎的なCGアニメーションの製作ができるようになる。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	アニメーションの基礎	16	実習(リグ構造を使ったアニメーション)	
	2	実習(セルアニメーションの作成)	17	アニメーション制作のプロセス	
	3	キーフレームと中割り	18	実習(シナリオ)	
	4	実習(簡単なアニメーション)	19		
	5	人体の構造とポーズ	20	実習(モデルの制作)	
	6	実習(ポーズ・ツー・ポーズ)	21		
	7	歩行とタイミング	22		
	8	実習(歩行アニメーション)	23		
	9	細かな動作	24	実習(モーション付け)	
	10	実習(ジャンプアニメーション)	25		
	11	誇張表現	26		
	12	実習(フォロースルーアニメーション)	27	実習(レンダリング)	
	13	カメラ・ライト・属性のアニメーション	28	総合演習作品発表	
	14	実習(シーンの演出)	29	科目試験	
	15	特殊なアニメーション			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	アニメーション技法	電子開発学園		
実習環境	Maya(Autodesk)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験(40%) 実習課題(60%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：MM-204

科目名		時間数(90分)			
ゲームプログラミング I		講義	演習	実習	合計
		9		36	45
科目概要	ゲームを開発するときに使用されているC#について、講義・練習問題・実習問題を通して、基本文法から基礎的なゲーム作成ができるまでを習得する。				
学習到達目標	C#の基本文法やライブラリーを使って、基礎的なゲームのプログラミングができる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	C#言語の概要	31		
	2	実習 (VisualStudio の使い方)	32	実習 (クラスとメソッド)	
	3	変数のデータ型、代入演算子	33		
	4	論理演算子・算術演算子、初期化	34		
	5	実習 (データ型と演算子)	35	構造体	
	6	基本制御文 (直線型から多分岐型)	36	実習	
	7	基本制御文 (繰り返し型)	37		
	8		38		
	9		39		
	10		40		
	11	実習 (基本制御文)	41		
	12		42		
	13		43		
	14		44		
	15	配列	45		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20	実習 (配列)			
	21				
	22				
	23				
	24				
	25	クラスとメソッド			
	26				
	27				
	28	実習 (クラスとメソッド)			
	29				
	30				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	猫でもわかるC#プログラミング 第3版	SBクリエイティブ		
実習環境	VisualStudio C#				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	演習課題(100%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：MM-205

科目名		時間数(90分)			
ゲームプログラミングⅡ		講義	演習	実習	合計
		8		37	45
科目概要	統合開発環境である Unity を使ったゲーム開発について、講義と演習課題を通してC# スクリプトによるオブジェクト操作やマルチプラットフォーム開発の技法を習得する。				
学習到達目標	ゲームエンジンである Unity を使用して、ゲーム機や Android 向けの基本的なゲームを開発できる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Unity の基礎	31	ゲーム制作	
	2	Unity の設定	32		
	3	Unity の操作	33		
	4	ゲーム 1 作成 (オブジェクトの配置と動かし方)	34		
	5		35		
	6		36		
	7	ゲーム 2 作成 (UI と監督オブジェクト)	37		
	8		38		
	9		39		
	10	ゲーム 3 作成 (Prefab と当たり判定)	40		
	11		41		
	12		42		
	13	ゲーム 4 作成 (Physics とアニメーション)	43		
	14		44		
	15		45		
	16				
	17	ゲーム 5 作成 (3D ゲームの作り方)			
	18				
	19				
	20				
	21	ゲーム 6 作成 (レベルデザイン)			
	22				
	23				
	24				
	25	スケジュール作成			
	26				
	27				
	28	企画書・設計書作成			
	29				
	30				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Unity の教科書 Unity2021 完全対応 2 D&3D スマートフォンゲーム入門講座	SBクリエイティブ		
実習環境	Unity				
	画像制作ツール				
	3Dモデル制作ツール				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	演習課題(100%) 別途定める評価シートに基づく		＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：MM-206

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
ゲームプランニング応用		15			15	
科目概要	ゲーム業界でも通用する「企画書」や「仕様書」の重要ポイントを、実際の制作プロセスを通じて習得する。					
学習到達目標	ドキュメントの正しい制作過程を知り、効果的な見せ方や作り方のスキルアップを目指す。 ゲーム制作(ゲームプログラミング 2、マルチメディア総合演習)で実際に制作するゲームの「企画書」、「仕様書」を作成する。					
講義計画	回	内容			回	内容
	1	企画書とは				
	2	仕様書とは				
	3	効果的な表現				
	4	必要な項目と記載				
	5	配置と配色				
	6	企業が求める「企画書」				
	7					
	8	「企画書」制作				
	9					
	10					
	11					
	12	「仕様書」作成				
	13					
	14	まとめ				
	15	講評				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	配布資料				
実習環境						
目標資格						
		資格名		実施団体		
成績評価方法						
演習課題(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可				

科目番号：MM-207

科目名		時間数(90分)				
マルチメディア総合演習 I		講義	演習	実習	合計	
			45		45	
科目概要	これまでに修学したスキルを用い、ゲームアプリケーション、ポートフォリオなどのコンテンツを作成し、成果物のプレゼンテーションを行う。					
学習到達目標	タスクに対して、適切な開発・作成ツールを選択し、対応できるようになる。また、スケジュール管理やプレゼンテーション技法などのスキルアップを目指す。					
講義計画	回	内容	回	内容		
	1	プレゼンテーション技法	26	コンテンツの製造2		
2	27					
	3	プロジェクト管理技法	28	中間報告		
	4	企画書 作成/審査	29	コンテンツの製造3		
	5		30			
	6		31			
	7		32			
	8	コンテンツの製造1	33	コンテンツの製造3		
	9		34			
	10		35			
	11		36			
	12		37			
	13		38			
	14	中間報告	39	プレゼンテーション準備		
	15		40			
	16		41			
	17	中間報告	42	プレゼンテーション		
	18		43			
	19	コンテンツの製造2	44	ファクトコントロール		
	20		45	講評		
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
使用教材	書籍名		出版社			
実習環境	Maya (Autodesk) Unity VisualStudio C#					
目標資格	資格名		実施団体			
成績評価方法	実習課題(80%) プレゼンテーション(20%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：MM-210

科目名		時間数(90分)			
SEA/J基礎		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	情報セキュリティ全般の知識について、SEA/J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。				
学習到達目標	SEA/J基礎(CSBM)資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報セキュリティマネジメント	15	ID管理と認証、パスワード認証、バイオメトリクス認証、認証デバイス	
	2	セキュリティ運用			
	3	インフラセキュリティ	16	認証プロトコル、シングルサインオン、アクセス制御手法	
	4				
	5	不正アクセス	17	プログラミング	
	6	ファイアウォールの概念	18	不正プログラム	
	7	ネットワークアクセスコントロール NAT	19	不暗号の基礎、共通鍵	
			20	公開鍵、その他の鍵	
	8	ファイアウォールの導入と運用	21	電子署名	
	9	IDSの概要と構成 検知アルゴリズム	22	PKI	
			23	セキュリティプロトコル	
	10	侵入検知関連技術	24	標準規格	
	11	アプリケーションセキュリティ (DNS、電子メール)	25	法令	
			26		
12	アプリケーションセキュリティ (Web)	27	資格試験対策		
		28			
13	サービス管理、ファイルシステム管理、 アカウント管理、ネットワーク保護	29	科目試験		
14	修正プログラムの管理、ログ管理、 監査機能、Trusted OS	30			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト	SEA/J		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報セキュリティ技術認定 基礎(CSBM)		SEA/J		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	科目試験(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：MM-211

科目名		時間数(90分)				
特別講座Ⅱ（ゲーム2年課程）		講義	演習	実習	合計	
		105			105	
科目概要	「基本情報技術者試験」、「応用情報技術者試験」、「CompTIA A+」の資格取得にむけた対策講座を実施する。					
学習到達目標	上記の資格取得を目標に講座を展開する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 43	対策授業（4月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者				
	44 ～ 58	対策授業 ・SEA/J（11月試験）				
	59 ～ 105	対策授業（10月国家試験） ・基本情報技術者 ・応用情報技術者				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	プリント資料（過去問題）				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験			IPA 独立行政法人情報処理推進機構		
成績評価方法	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					

科目番号：共通-204

科目名		時間数(90分)				
就職対策(2年課程)		講義	演習	実習	合計	
		30			30	
科目概要	就職活動を円滑にすすめるための業界研究、企業調査、自己分析の方法について、講義と演習課題を通して習得する。また、企業セミナーや個別企業説明会、OB・OG訪問参加の際のマナー、採用試験として実施される適性検査(SPI試験)、論作文、グループディスカッション、面接(集団、個人)試験の対策を演習と講義で学習する。					
学習到達目標	就職活動の中で発生する様々なイベントにおいて、個人の有する能力を最大限発揮できるように準備する。就職活動は、個人ごとの基礎学力や性格、到達目標が異なるため科目としての評価は実施しない。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	SPI問題	自己分析	16		
	2	SPI問題	自己分析	～	SPI問題	適性検査問題
	3	SPI問題	業界調査	18		
	4	SPI問題	業界調査	19		
	5	SPI問題	企業分析の方法	～	SPI問題	筆記試験問題(一般常識)
	6	SPI問題	企業分析の方法	21		
	7	SPI問題	エントリーシートの書き方	22	SPI問題	性格検査
	8	SPI問題	エントリーシートの書き方	23		
	9	SPI問題	志望動機の考え方	～	企業調査	
	10	SPI問題	履歴書の書き方	25		
	11	SPI問題	履歴書の書き方	26		
	12	SPI問題	採用試験(作文)	～	面接練習	
	13	SPI問題	採用試験(集団面接)	29		
	14	SPI問題	採用試験(個人面接)	30	まとめ	
	15	SPI問題	採用試験(個人面接)			
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	就職筆記試験対策問題集 一般常識・SPI編		ムゲンダイ出版		
	副教材	プリント資料				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					